

勝彦の千思万考

新しい収入源！ ふるさと納税が断然お得な訳

例えば

企業誘致で1億円増収
固定資産税・法人税など

→ 税収増は
国のルール*で
75%カット

**小都市に入るのは
2,500万円**

*国からの仕送り金、
地方交付税算定基準。

でも

**ふるさと納税は寄付金なので
国とのルールはありません**

平成30年度は 収入 3億4,300万円
経費 2億200万円

**小都市には
1億4,100万円
入ります**

寄付件数の多いベスト3

- 1位 東京都 6377件 8100万円
- 2位 神奈川県 2859件 3500万円
- 3位 愛知県 2234件 2780万円



返礼品トップはさかえやの辛子明太子で4852件です。

ふるさと納税 寄付金額・返礼品数の推移



平成20年スタート

↓ 低迷時代

平成27年 550万円

↓ 12倍

平成29年 6,900万円

↓ 5倍

平成30年 3億4,200万円 (見込)

近況報告

最近の楽しみは録画した連続テレビ小説を観ること📺
シリーズ100作目の「なつぞら」の他にも再放送で「おしん」と「ゲゲゲの女房」1日で3本。充実しています👍



井上勝彦プロフィール

昭和41年2月 浮羽町(現在のうきは市)生まれ
53歳 うお座 A型
●御幸小学校・浮羽中学校・県立浮羽高校(現在は浮羽実業館)を卒業
●(株)プリンスホテル勤務
●平成16年(社)みい青年会議所 第31代理事長
●平成17年 小郡市議会議員補欠選挙で初当選
●平成30年の選挙で当選。現在5期・15年目。
議席番号14番 政党は無所属 会派はおごり創志会
議会選出監査委員
保健福祉常任委員会 委員
議会運営委員会 委員

《現在活動中の団体》

- ・NPO法人 元気っ子未来塾 監事
- ・明るい社会づくり運動県南地区協議会 常任理事
- ・福岡都市圏研究会 会員 など

勝ちゃんのでてて雑記

今回はお休みです👋

小郡市議会議員

井上勝彦後援会

勝ちゃんタイムズ

KATCHAN TIMES

NO.30 SUMMER 2019

令和元年度の主な事業



市営住宅建設事業
11億7900万円
井上第2住宅建設費



のぞみが丘小学校給食施設整備事業
2億6800万円
年次的に進めていた自校式給食施設の整備費



市道下町・西福童16号線
工事再開、来年の2月に
国道500号線まで開通予定

ふるさと納税活用事業 (新規5事業)

ふるさと納税で得た
収入を活用しての事業

- ① **買い物支援事業**
移動販売のための支援
- ② **園芸施設等整備事業**
国、県の補助対象外の事業に対して市独自の支援
- ③ **七夕プロジェクト事業**
七夕を地域ブランドとして確立、地域活性化を図る
- ④ **公共交通調査事業**
コミュニティバス以外の交通網形成の検討
- ⑤ **小規模魅力化推進事業**
小規模校の特色を活かした魅力ある学校づくりの推進

暑中御見舞
申上げます

小郡市に対してのご意見やご質問をお知らせください



TEL 0942-73-3966(専用ダイヤル)
FAX 0942-73-3889

井上勝彦事務所
〒838-0138
小郡市寺福童322-1



3月議会報告

2月25日～3月22日までの26日間の会期で開催しました。過去最大であった昨年の予算を超え2年連続で膨らみ続けています。事業の見直しを含めて身の丈に合った予算にしていくことが急務です。

市に対して、財政再建計画を早急に策定し改善策を講じる事、平成31年度の予算の執行にあたっては、再度、事業の必要性や執行方法を十分精査する事、最小の経費で最大の効果を上げるように努める事を附帯決議として予算を承認しました。

審議された主な案件

議案第21号 平成31年度 一般会計予算の承認について
220億8700万円を予算とする。(当初予算としては過去最大の予算となりました)

主な歳入(収入) ※平成21年、10年前の決算と比較しました

市税 (小郡市の純粋な収入) 個人、法人の市民税・固定資産税・軽自動車税・たばこ税など
67億6700万円 歳入全体の31%
平成21年 63億8500万円 (3億8200万円の増)

地方交付税 (国からの仕送り) **34億5500万円 歳入全体の16%**
平成21年 35億6800万円 (1億1300万円の減)

国庫・県支出金 (補助金・負担金) 民生費に対する補助・負担金や各種事業を行うことに対しての一部補助・負担金が主なものです。多くの事業を実施すれば多く貰えますが、当然市の予算も必要になってきます。計画が大切です。
58億700万円 歳入全体の26%
平成21年 32億9400万円 (25億1300万円の増)

市債 (借金) **25億3000万円 歳入全体の12%**
平成21年 10億5600万円 (14億7400万円の増)

主な歳出(性質別)

人件費 **34億200万円 歳出全体の15%**
平成21年 32億6100万円 (1億4100万円の増)

扶助費 地域福祉・児童福祉・障害者福祉・高齢者福祉や生活保護等福祉にかかる支出
50億4500万円 歳出全体の23%
平成21年 26億6100万円 (23億8400万円の増)

投資的経費 学校・市営住宅などの建設費や道路・橋梁などの整備・維持にかかる支出
38億5400万円 歳出全体の17%
平成21年 17億5600万円 (20億9800万円の増)

公債費 今までの借金の返済に充てるための支出
18億6200万円 歳出全体の8%
平成21年 24億400万円 (5億4200万円の減)

6月議会報告

6月3日～24日までの21日間の会期で開催しました。執行部は5月に緊急財政対策計画を策定して財政健全化への取組みを始めました。国の財政健全化に関する指針「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」がある中、今までが全て健全化基準の範囲内で問題がないと議会にも報告をされそれを承認してきました。

しかし、一年ごとの収支は、平成26年から4年連続で赤字に陥っていて既にこの厳しい状況になるという前ぶれがあったわけであり、予算を認め、決算を承認してきた議員として、反省をいたします。これからは、より慎重な審査に努め、執行部と一丸となって財政健全化に努めてまいります。

一般質問～6月議会にて～

財政健全化への取組み(人件費の抑制と民間委託への取組み)について

質問 経常経費の中で、他自治体と比べて小郡市は人件費の占める割合が特に高いですがその要因については?

市長答弁 財政規模に対して職員数が多いです。公共施設を市が直接管理運営していることも1つの要因であり、嘱託職員を多く配置しており、県内の人口が同規模の自治体と比較すると平均よりも多い状況です。人件費が低い自治体は民間委託を積極的に推進しています。

質問 平成19年から取り組んでいる行財政改革行動計画の中でも

民間委託を積極的に推進するように計画をされていましたがその取組みと成果については?

経営政策部長答弁 民間委託の進捗についてはさまざまなハードルがございますので取組から10年以上経過していますが進んでいないというのが現状です。

質問 今から取り組む緊急経済対策計画で今まで出来なかった民間委託の推進について具体的にどのように進めていくのか?
副市長答弁 県内26市の状況は民間委託している自治体が学校給食調理

一般質問～3月議会にて～

財政状況について

質問 過去最大の予算まで膨れ上がった要因について

市長答弁 国が経済対策を進める中で、小郡市の歳入財源を超える公共事業などの投資的事業が実施計画として位置づけされたことが大きな要因です。私の就任前の年度の平成28年度には、平成29年、平成30年、平成31年度の実施計画が策定され、さまざまな事業の補助金の申請、関係者との合意などが進められ、途中でとめられない数々の大型事業が生まれ、財政調整基金からの繰り入れをする前提で予算を組まなければならない状況となっておりました。

質問 財政健全化に向けた取組みについて

市長答弁 主な取組みとして、
①予算執行の節減に努めること。
②来年度当初から投資的事業の凍結・縮小・事業期間の延長を検討。2020年度に向けて投資的経費を縮減させるとともに起債額を抑えて公債費の負担を抑制すること。
③事務処理手法の見直し効率化を図り総人件費の抑制を図ること。
④未利用地の売却・ふるさと納税の充実など歳入の確保に

努めること。など財政体質の改善の第1歩として強い決意で取り組んでいきます。

質問 ふるさと納税制度の充実と民間の活用について

市長答弁 返礼品の充実や地場産品のPRに取り組み、農業・商工業の振興につなげながら地域の稼ぐ力の向上と、ふるさと納税を財源として新しい事業を推進していきます。民間との連携については、民間の創意工夫や資金を活用して効率的で効果的な公共サービスの提供ができないか、公共施設等の整備に関しては、PPP・PFIの手法導入に関して検討していきます。その他の様々な施策につきましても、民間の力と繋がることで地域課題の解決や地域の活性化に取り組んでいきます。

上記の質問の他に学童保育の環境について、学童保育でも体育館や特別教室など学校施設が積極的に活用できるように質問・提案をしました。

業務で21市、窓口業務で10市です。高齢化により扶助費等の義務的経費が伸びる中にも市民生活を守るためのサービスは必要です。他自治体では民間委託が当然のように行われているという実態がございますので小郡市としても取り組んでいかなければなりません。



民間委託を加速!
民間委託が試行された小郡小学校の自校式給食

を循環で運行が出来ないか検討をしています。中・長期的な課題であります多様な公共交通網の形成につきましては、来年の令和2年度中には方針を出して行く予定です。



ようやく始動!
以前より提案がなされていたコミュニティバスの曜日運行

地域交通の充実について

質問 運転免許証の自主返納は公共交通機関が十分ではない地域にあつては、日常生活に大きな影響が出るので戸惑っております。市はコミュニティバスの利用促進を含めたそれぞれの地区に合った多様な公共交通網の構築の必要性を打ち出していますが、早期の取組みを期待するものです。これからの取組みについて

市長答弁 宝満川左岸地区ルートの曜日運行の試行を今年度10月から予定しています。また、市内タクシー事業者とデマンドタクシーの導入に向けた準備を進めていきます。宝満川右岸地区(市街化区域の地区)ではコミュニティバス

要望 東京都、近隣ではうきは市で70歳以上を対象に、アクセルとブレーキのペダルを踏み間違えても急発進しない踏み間違い防止装置、車線はみ出しを知らせるドライブレコーダーに対して、設置費用の補助を出しております。ぜひ、小郡市でも取り組んでいただきたい。

上記の質問の他に、随意契約について、市が行う契約の1つ1つに競争原理を導入するように、また登下校時の交通安全対策について、まちづくり協議会と教育委員会の連携の進捗状況について質問をしました。

一般質問は会報誌のスペースの都合で一部をご紹介しましたが、市役所ホームページの市議会 インターネット中継で詳しくご覧になれます。是非ご覧になってください。